

基本構想検討の進め方について（案）

県民文化部 文化政策課

1 ワーキンググループ（WG）の設置

今後検討する新美術館の経営・管理運営に関する事項は、いずれも財源や人員体制等との見合いで検討する必要があるため、当委員会の委員はじめそれぞれの分野の専門家、県の関係部局の職員等と事務局によるWGを設置し、具体的な検討を行う。

○ WGのイメージ

WG名	検討内容
経営体制WG	○ 新美術館の経営体制
コンセプトの具現化に向けた方策WG	○ 観光拠点となる魅力ある美術館づくり ○ 美術による教育 ○ 文化芸術による地域活性化（整備効果の全県的な波及）
コレクションポリシーWG	○ 新美術館のコレクションポリシー

※ ランドスケープミュージアムの具現化に向けた検討については、長野市・善光寺とのプロジェクトチームを改組して対応する予定。

2 スケジュール

内容	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度以降
整備方針 及び 基本構想	整備方針を検討 → 整備方針（案）の決定	WGによる 経営・管理運 営面の検討 → 検討委員会 基本構想の決定		
周辺整備		美術館を含めた城山公園及び周辺整備について協議・調整 （長野市・善光寺とのプロジェクトチーム）	設計・工事に向けた調整	
設計・工事			基本設計 → 実施設計	工事着手

- WGによる検討状況は、整備検討委員会委員に適宜報告し、意見を聴取する。
- 基本構想（案）は、WGのとりまとめ終了後に、整備検討委員会に諮り、整備方針と基本構想（案）との整合性などの観点から検討し、決定する。

基本構想策定に向けて検討すべき主な課題（たたき台）

県民文化部 文化政策課

1 新美術館の経営体制

- 運営体制（指定管理、直営、一部直営、地方独立行政法人化）
- 組織・人員 など

2 コンセプトの具現化に向けた方策

(1) 観光拠点となる魅力ある美術館づくり

- 年間利用者 100 万人に向けた集客戦略
- 県外の美術館とのネットワークづくりと観光ルートの形成
- 美術館におけるグローバル化への対応 など

(2) 美術による教育

- 子どもの感性や創造性を育む場、高齢者等の生涯学習の場としての利用促進
- 障がいのある者のための美術に親しみ、学び、才能を発揮するプログラムの展開
- 県民の文化芸術活動の支援 など

(3) 文化芸術による地域活性化（整備効果の全県的な波及）

- 県内美術館等とのネットワークづくりと広域的な事業展開
- 信州の地域産業（伝統工芸等）との連携した活動や発信
- 信州の多様な地域文化の紹介 など

3 新美術館のコレクションポリシー